

1. 松原市 ; 出前講座
2. 藤井寺市 ; まるごとまちごとハザードマップの整備・更新・周知
3. 藤井寺市 ; LINEを活用した避難訓練及びマイ・タイムラインの作成推進
4. 大阪狭山市 ; コミュニティタイムライン勉強会の実施
5. 柏原市 ; ハザードマップの更新・周知
6. 河川室 ; 大阪府河川防災情報のリニューアル
7. 河川室 ; 大阪府域 流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】
8. 大和川河川事務所 ; 防災教育の推進
9. 大和川河川事務所 ; 災害リスクの現地表示

取組内容

防災教育の実施

資料8-1

- 参加人数：30人
- 取組背景：被害を減少させるため
- 取組のねらい：水害のリスク、身を守るための行動などの啓発



取組内容 市内122箇所にまるごとまちごとハザードマップを整備し、地域の水害リスクを見える化

設置地点が水害発生時にどの程度浸水するリスクがあるかを示した「まるごとまちごとハザードマップ」を浸水リスクのある市内122箇所に設置しています。日頃からご自身の生活圏の水害リスクを意識してもらうことで、防災意識を高めてもらうこと、災害が迫ってきた際に躊躇なく避難してもらうことを目的とした取組です。

設置の例



市広報版へ設置
(国分地区)

川北地区の標識
(藤井寺支援学校前)



津堂地区会館



取組内容 LINE上で完結する避難訓練とマイ・タイムライン作成機能を導入し、防災意識の向上を目指す

市公式LINEアカウント上にトーク画面でのやり取りで完結する避難訓練機能並びにマイ・タイムライン作成機能を導入しています。いつでも、どこでも実施できる避難訓練で避難に必要な知識を身に付けていただき、マイ・タイムラインを作成いただくことで、災害時の迅速な避難を目指す取組です。



防災メニューへ
切り替え

▲藤井寺市
LINE公式アカウント



該当するボタンをタップすると
各機能が起動します。

①避難訓練機能

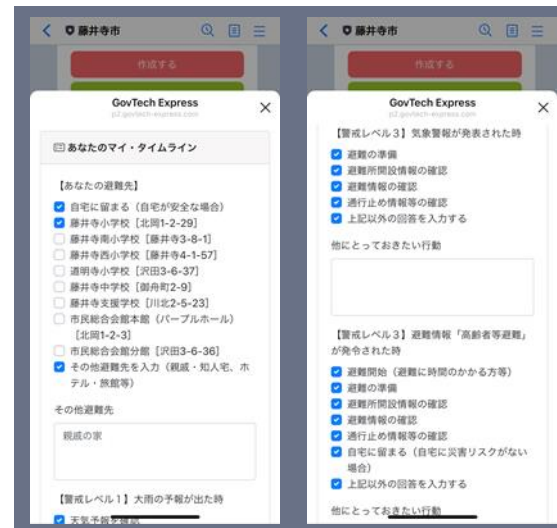
LINEのトーク画面上で避難のタイミングや避難先など避難に必要な情報を大雨の予報が出たときから避難完了までの時系列に沿って確認する訓練です。



▲訓練画面より一部抜粋

②マイ・タイムライン作成機能

LINEのトーク画面上で簡単なアンケートに回答することで、風水害が迫ってきたときの自身の行動をまとめたチェックリスト（マイ・タイムライン）を作成する機能です。作成したマイ・タイムラインは、LINE上でいつでも確認・修正することができます。



◀マイ・タイムラインの作成例

取組内容 地域ごとの状況を整理し、コミュニティタイムラインの作成を促進する。

資料8-4

各小学校区単位に分かれ、台風時など取るべき防災行動や避難のタイミングについて、あらかじめ整理しておく「コミュニティタイムライン」の勉強会を実施しました。



一般社団法人ADI災害研究所理事長による
コミュニティタイムライン、防災気象情報、地域の
災害リスクに関する講義を受講



小学校区単位に分かれて様々な場面
を想定したワークショップを実施

取組内容

柏原市総合防災マップの更新を行い、浸水想定区域の追加など掲載内容を充実化

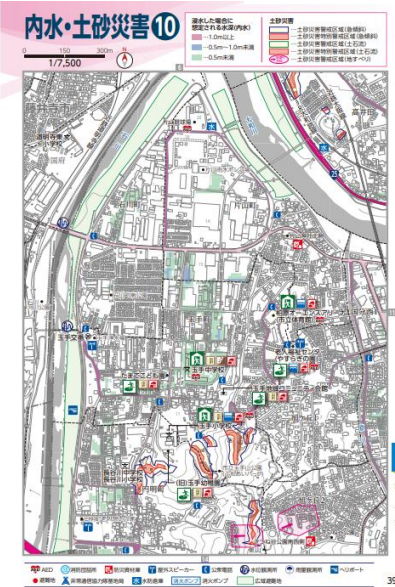
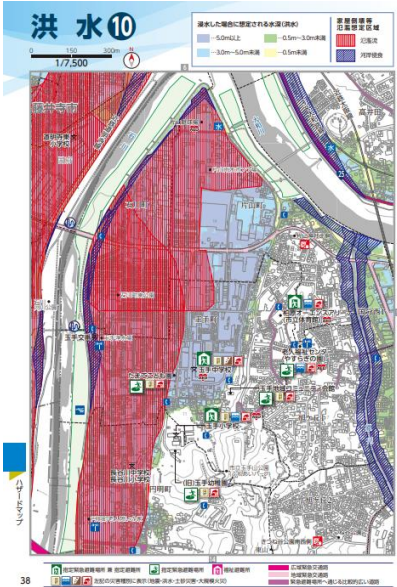
資料8-5

住まいの地域にどのような災害リスクがあるのかを事前に確認し、的確な避難行動につなげることができるよう柏原市総合防災マップの更新を行いました。

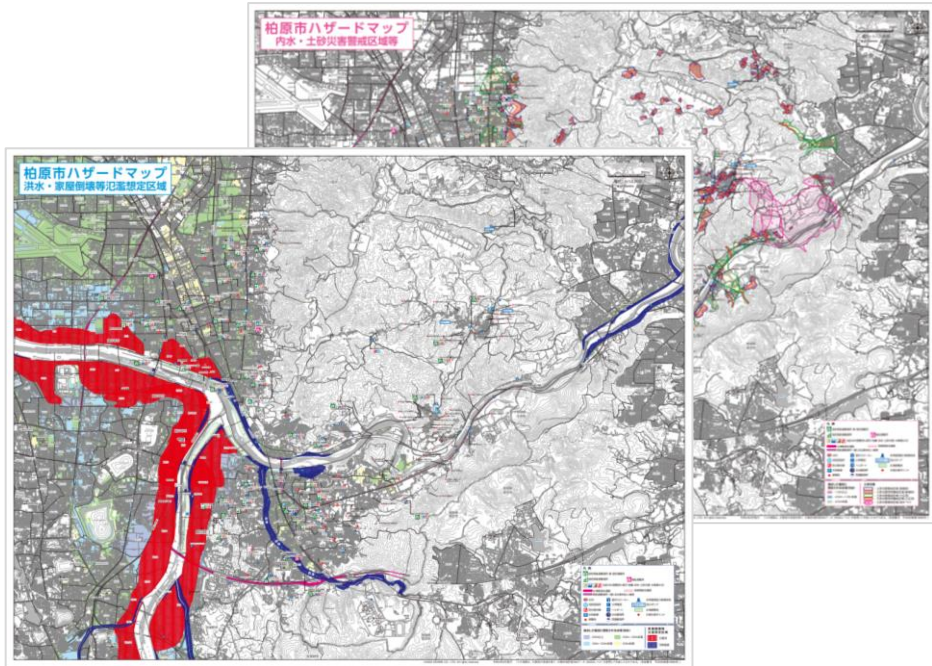
○主な更新内容

- ・**石川、原川**の浸水想定区域図の追加に加え、これまで別冊で周知していた浸水害やため池の災害リスクを集約して掲載しました。
- ・市域全体の災害リスクが一目で確認できるよう、冊子とは別に付録地図を追加しました。
- ・パソコン、スマートフォンから閲覧できるWEB版ハザードマップを新たに作成しました。

WEB版ハザードマップはこちらから ▶



総合防災マップ冊子



付録地図(全域マップ)

取組内容

河川の防災情報を提供するHPをリニューアルし、避難や水防活動に資する情報提供を充実化

資料8-6

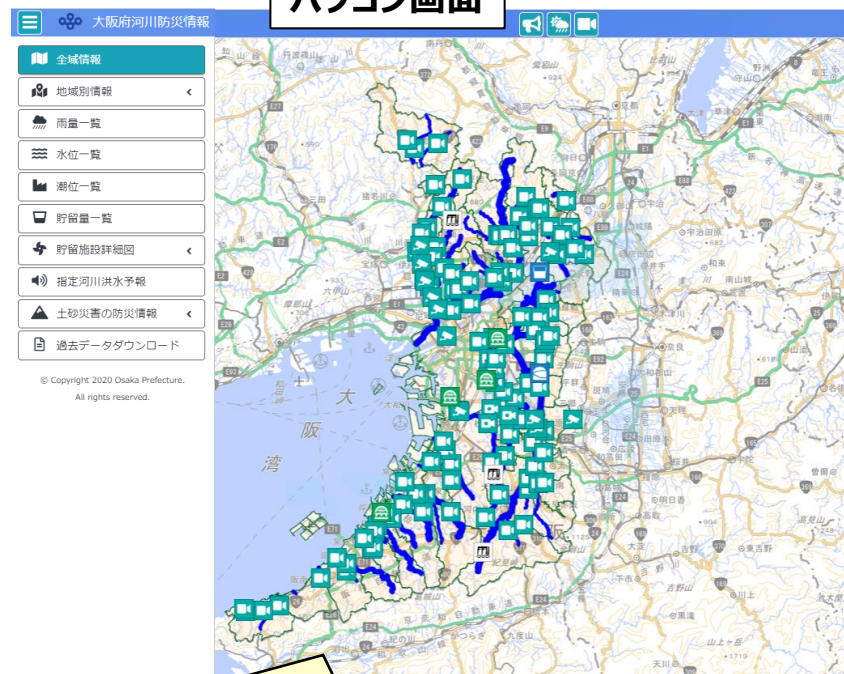
大雨の際に府民の皆さんが躊躇なく避難行動をとれるように、雨量、河川水位や河川カメラ画像などの河川防災情報を公開しています。（英語対応）

<https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html>



令和4年12月～ ホームページを大幅リニューアル

パソコン画面



新ホームページの改良点① ～閲覧可能情報の追加～

これまで閲覧できた水位、雨量、貯留施設（ダム等）状況に加え、新たに
**洪水リスク表示図、土砂災害警戒区域、土砂災害の防災情報
降水ナウキャスト、水門・鉄扉等施設の開閉状況、開設避難所情報**
が同一画面上で閲覧可能に！

スマホ画面



新ホームページの改良点② ～スマートフォンに対応～

スマホ専用画面を新たに作成
スマホの位置情報から**自分の位置、周囲の河川状況、
開設された避難所の位置が一目で分かる！**

水位情報閲覧画面

観測時刻	戒厳基準 m	万全基準 m
堤防高	7.065	6.917
氾濫危険水位	4.20	3.45
避難判断水位	3.85	3.10
氾濫注意水位	3.75	3.00
水防団待機水位	2.50	1.50
最大値	[18:37] 4.45	[18:26] 5.25
最小値	[04:30] 1.23	[16:54] 0.20
既往最大	4.34	5.01
09/02 18:24	4.45	5.25
09/02 18:23	4.45	5.23
09/02 18:22	4.45	5.23
09/02 18:21	4.45	5.20
09/02 18:20	4.45	5.15
09/02 18:19	4.45	5.08
09/02 18:18	3.94	4.99
09/02 18:17	3.95	4.91
09/02 18:16	3.90	4.82
09/02 18:15	3.79	4.70
09/02 18:14	3.77	4.59
09/02 18:13	3.70	4.47
09/02 18:12	3.65	4.37
09/02 18:11	3.60	4.25
09/02 18:10	3.57	4.15
09/02 18:09	3.54	4.04
09/02 18:08	3.52	3.92
09/02 18:07	3.48	3.79
09/02 18:06	3.44	3.68
09/02 18:05	3.39	3.59

10分間で
約1mも
水位上昇

新ホームページの改良点③ ～リアルタイム化～

水位情報の提供を**10分⇒1分間隔に短縮**
リアルタイムで水位が確認できる！

大阪府域 流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～880万人の暮らしを守る「防ぐ」「逃げる」「凌ぐ」を組み合わせた流域治水の推進～

大阪府
参考資料

資料8-7

●グリーンインフラの取り組み

みお筋等を工夫した整備（田尻川）

水制工

かわまちづくり（箕面川）

現地埋土種子による法面緑化（安威川ダム）

水都大阪の再生
大川ふれあい水辺

魚道整備（西除川）

ワンドの整備（近木川）

かわまちづくり（椋井川）

魚道整備（芥川）

親水護岸整備（寝屋川）

水環境改善のための底泥の浚渫（寝屋川流域）

生駒山系花屏風構想

ひつじによる除草（松尾川）

【全域に係る取組】

- ・アドプト・リバー・プログラムによる美化活動
- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

○寝屋川流域では、下水道整備の進捗等により、昭和50年以前の劣悪な水質が改善し、平成27年以降は全ての環境基準点で環境基準を満たしています。

○淀川水系田尻川や芥川などでは、多様な生物に配慮した多自然川づくりを進めています。

○水都大阪の再生やかわまちづくり事業など、河川区間を活かした賑わいを創出していきます。

このような、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進していきます。

●自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・ダム建設に伴う現地植生回復

●治水対策における多自然川づくり

- ・上下流の連続性確保に向けた魚道の整備
- ・現地発生材を活用したみお筋の整備

●自然環境が有する多様な機能活用取組

- ・小中学校、水辺の学校等との河川環境学習
- ・自治体・住民・企業との協力による河川美化活動
- ・寝屋川流域協議会の連携による水環境改善の取組
- ・花木や紅葉の美しい樹木の植樹による景観資源の創出

●魅力ある水辺空間・賑わいの創出

- ・水の都を取り戻す水都大阪の再生
- ・自然環境と周辺の歴史的資源を活かしたかわまちづくり

アドプト・リバー・プログラム
による河川美化活動



水辺の学校による
河川環境学習



取組内容 藤井寺市においてマイタイムライン作成講習会を実施

資料8-8

日 時：令和4年11月6日（日）14:00～15:00

場 所：藤井寺市市役所 3階会議室

内 容：逃げキッドを活用したマイ・タイムライン作成のポイント理解

対 象：岡田市長、自治会員等（26名）

講習会の様子



<市の取り組み説明(岡田市長)>



<講習会の目的説明(国交省)>



<マイ・タイムラインの説明>



<参加者による検討の様子>



<LINEアプリの説明(藤井寺市)>



<マイ・タイムライン 動画>

<講習会資料>

取組内容 まるごとまちごとハザードマップ実施箇所（藤井寺市）での意識調査の実施

- 藤井寺市では、令和3年度に市内掲示板80箇所及び市内19地区38箇所にもるごとまちごとハザードマップを設定している。
- 令和3年度のアンケート調査では、41%の方がまるごとまちごとハザードマップを「見たことある」と回答していたが、令和4年度の調査では、54%まで認知度が上がっており、水害リスクの周知に期待できる。
- また、まるごとまちごとハザードマップを見たことで「ハザードマップを確認した(14/54人)」や「避難所・避難場所を調べた(19/54人)」のように、行動等に変化があった人が一定数存在することも明らかとなった。

	アンケート概要
対象	藤井寺市(浸水想定区域内にお住まいの方)
サンプル	100サンプル(信頼度95%、精度10%)
調査方法	・Webアンケート (ポイント等の恩恵があり、防災に興味がない人も回答するため、防災意識の高い住民の回答が多い等の偏りがなく集計ができる)
実施時期	令和5年2月22日～2月24日
質問例	・堤防が決壊すると思うか。 ・洪水ハザードマップを知っているか。保管しているか。 ・まるごとまちごとハザードマップ(浸水地の標識)を知っているか。 ・まるごとまちごとハザードマップを見て行動に変化はあったか。

